PENTAX

Optio WG-2 GPS

JA

GPS機能活用ガイド

本ガイドにはOptio WG-2 GPSに搭載されているGPS機能をお使いになるための方法や注意などが記載されています。GPS機能をお使いになる前に必ず本ガイドをお読みください。

54564

R02BAB12
Printed in Indonesia

GPS機能をお使いの前に

GPSとは

GPSとはグローバル・ポジショニング・システム（Global Positioning System）の略で、複数のGPS衛星から送信される電波を受信して、自分の位置や時刻を計測するシステムです。現在位置を計算することを「測位」といいます。

Optio WG-2 GPSのGPS機能でできること

撮影した静止画・動画に位置情報を記録できる

撮影した場所の経度・緯度などの情報が記録されます。同梱のソフトウェアを使うと、地図上で撮影した場所を表示することができます。

ログの記録

定期的にGPS衛星からの電波を受信し、測位結果をログファイルとしてSDメモリーカードへ記録することができます。ログファイルはKML形式で保存されます。ログファイルをパソコン上でGoogle Earth、Googleマップなどに取り込んで、地図上に移動の軌跡などを表示することができます。

※Google、Google Earth、Googleマップは、Google Inc.の商標または登録商標です。

GPS取得データを利用した時刻修正

GPS衛星から取得した時刻情報を利用して、カメラの時刻を自動で修正することができます。

取り扱い上の注意

- お買い上げ時ではGPS機能は「オフ」になっています。GPS機能をお使いになる場合は「GPS測位」を「オン」に設定してください。
- GPS 衛星の位置は常に変化しているため、お使いになる場所や時間などの条件によっては、測位に時間がかかったり、測位できなかったりすることがあります。
- GPS 機能をお使いになる場合は、屋外など空の開けた場所でお使いください。
- 以下のような場所では GPS 衛星から電波を受信することができなかったり、受信しにくくなることがあります。
  - 水中
  - 屋内や地下
  - トンネルの中
  - 高層ビルの間
  - 高架下や高圧電線の近く
  - 密集した樹木の間
  - 1.5GHz帯の携帯電話の近く
- GPS 機能を「オン」にしていると、電源をオフにしていても定期的に測位を行います。病院内や飛行機の離着陸時など、電子機器の使用を禁止された場所では、必ず設定メニューから「GPS測位」を「オフ」にしてから（p.5）電源を切ってください。
- 初めて GPS 機能をお使いになる場合や、長時間測位することができなかった場合、バッテリーを交換した場合などは、測位するまでに数分かかることがあります。
- このカメラのGPS機能の測地系は世界測地系（WGS84）を採用しています。
- お使いの国や地域によっては GPS の使用や位置情報を収集することなどが規制されている場合があります。海外旅行などで外国へ持ち込む場合は、GPS機能付きカメラの持ち込みやログの収集などについて制限がないか、事前に大使館や旅行代理店にご確認ください。
- 測位をしながら本機を持ち運ぶ場合は、金属製のかばんなどに入れないでください。カメラを金属製のもので覆うと測位ができません。
- 以下の場合、GPS 情報を取得できません。ただし以下の条件から外れると、すぐに情報取得を開始します。
  - アラームが設定されているとき
  - USBケーブルでパソコンに接続しているとき

  - AVケーブルまたはHDMIケーブルでAV機器に接続しているとき
  - バッテリーを交換してから1分間
- このカメラのGPS機能は、個人使用のデジタルカメラ用として開発・製造されたものです。航空機や車両、人などの航法装置、また測量用としての使用はできません。これらの用途で使用したことにより損害が発生した場合の保証はご容赦ください。

GPS機能を使う

GPS機能をお使いになる準備

まず、「GPS測位」をオンに設定して、GPS情報（経度・緯度・高度・日時など）を取得できるようにしておきます。

取得したGPS情報を撮影画像へ記録（p.6）したり、ログとして記録（p.8）、またログファイルとしてSDメモリーカードに保存（p.10）する場合や、自動時刻修正（p.14）を行うときも、「GPS測位」をオンに設定しておく必要があります。

1　「🔧設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

「GPS」画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で、「GPS測位」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5　十字キー（▲▼）でオフ／オンを選ぶ

オフ：GPS情報を取得しない

オン：GPS情報を取得する

- 「GPS測位」がオン設定されていると、電源をオフにしても定期的にGPS情報の取得が行われるため、バッテリーも消耗します。
  バッテリー寿命の目安：約60時間
  （GPS測位「オン」、記録間隔「15秒」に設定、カメラ電源を「オフ」にして、連続してGPS情報の取得をした場合）
- バッテリーを交換する場合は、いったん「GPS測位」を「オフ」に設定してから、交換してください。

GPS情報を撮影画像に記録する

「GPS測位」がオンに設定されていると、取得したGPS情報が、撮影画像に記録されます。

画像モニターには次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
-- （白）	GPS情報取得中。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されていて、GPS衛星からの電波を受信しているとき
	GPS情報取得済み。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されていて、GPS衛星からの電波を受信できているとき
-- （赤）	GPS情報未取得。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されているが、GPS衛星からの電波を受信できていないとき
	GPSエラー。いったん電源を切り、バッテリーを入れ直してから再度、電源を入れることで、エラーが解消します。それでも が表示される場合は内蔵GPSユニットの故障が考えられますので、当社サービス窓口にご相談ください。

「GPS測位」が「オフ」に設定されているときは何も表示されません。

注意

- 撮影画面に が表示されている場合のみ、GPS情報が撮影画像に記録されます。
- 「GPS 測位」をオンにしていると、電源をオフにしていても定期的に測位動作を行うため、バッテリーも消耗します。

- 動画に GPS 情報を記録する場合は、撮影開始時点の情報を記録します。
- 動画を分割した場合は、分割前の情報が表示されます。
- 動画にタイトル画像を追加した場合は、動画自体の情報が表示されます。
- での撮影時は、GPS情報が記録されないことがあります。

撮影した画像のGPS情報を確認する

1　撮影後に▶ボタンを押す

▶モードになり、撮影した画像が画像モニターに表示されます。

2　OK ボタンを何度か押してGPS情報表示に切り替える

取得できなかった場合は、すべて「--」で表示されます。

※取得日時は、GPS時刻（GPSシステムの基準時刻）で表示されます。カメラで設定された時刻とは一致しない場合があります。

同梱のソフトウェア「MediaImpression3.5 for PENTAX」に、GPS情報が記録された画像を転送して、撮影地を地図表示させることができます（Windowsのみ）。

プレビュー画面で画像を選び、「プロパティ」エリアの（場所）をクリックすると、地図表示されます。

※地図表示にはパソコンがインターネットに接続されていることが必要です。

☞「メディアブラウザの構成」（使用説明書・p.207）

GPSログを記録／保存する

設定した間隔・時間でGPS情報を取得し、ログとしてカメラ内部に記録します。

記録したログはログファイル（KML形式）として、SDメモリーカードに保存することができます。

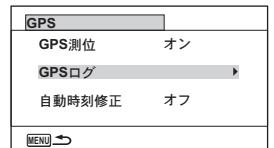
設定した間隔・時間でログを記録する

1　「🔧設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

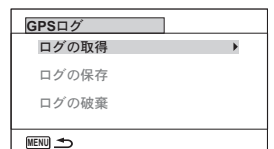
「GPS」画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で、「GPSログ」を選ぶ

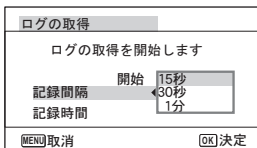
選べない場合は、「GPS測位」をオンに設定してください。

4　十字キー（▶）を押す

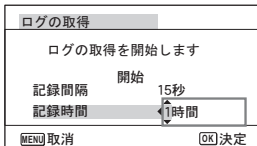
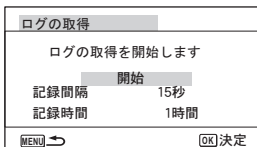
「GPSログ」画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「ログの取得」を選び、十字キー（▶）を押す

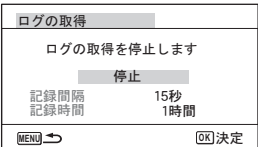
「ログの取得」画面が表示されます。

6 十字キー（▲▼）で「記録間隔」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

7 十字キー（▲▼）で記録間隔を選び、OKボタンを押す

8 十字キー（▲▼）で「記録時間」を選び、十字キー（▶）を押す

9 十字キー（▲▼）で記録時間を選び、OKボタンを押す

10 十字キー（▲▼）で「開始」を選び、OKボタンを押す

注意
- 一度記録したログを、ログファイルとしてSDメモリーカードに保存（p.10）、または破棄（p.12）するまでは新しいログを記録することができません。
- 「ログの取得」は「GPS測位」がオンになっている場合のみ設定できます。
- バッテリー残量が▭（赤）になると、ログの記録は行われません。
- ログの取得中は撮影モードパレットから（インターバル撮影）／（インターバル動画）モードを選択することができません。

ログの記録を中止する

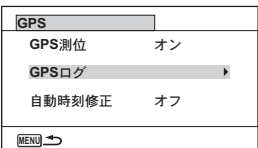
ログの取得中に「ログの取得」を選択すると確認画面が表示されます。「停止」を選び**OK**ボタンを押すとログの取得が中止になります。

取得したログを保存する

取得したログを、ログファイル（KML形式）として、SDメモリーカードに保存します。ログファイルは、SDメモリーカードのルートディレクトリにある「GPSLOG」フォルダに保存されます。

1 「🔧設定」メニューから十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「GPS」画面が表示されます。

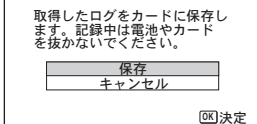
3 十字キーで「GPSログ」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

「GPSログ」画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「ログの保存」を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

6 十字キー（▲▼）で「保存」を選びOKボタンを押す

取得したログをカードに保存します。記録中は電池やカードを抜かないでください。
保存
キャンセル
OK 決定

7 OKボタンを押す

「GPSログ」画面に戻ります

注意
- ログファイルはSDメモリーカードにのみ記録できます（内蔵メモリーには記録できません）。
- ログファイルは999ファイルまたはカードの容量いっぱいまで記録できます。

メモ
- ログファイルに記録されるデータは、経度・緯度・高度・日時です。
- 記録したログファイルをこのカメラで確認することはできません。パソコンに転送し、Google Earth、GoogleマップなどのKML対応のソフトウェアに取り込んでご確認ください。

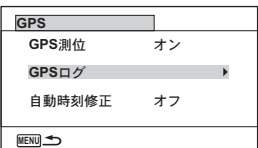
取得したログを破棄する

ログファイルをSDメモリーカードに保存せずに破棄します。

1 「🔧設定」メニューから十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

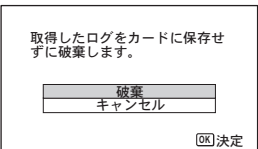
「GPS」画面が表示されます。

3 十字キーで「GPSログ」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

「GPSログ」画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「ログの破棄」を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

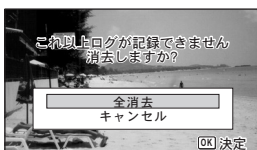
6 十字キー（▲▼）で「破棄」を選ぶ

7 OKボタンを押す

ログを消去する

ログファイルの数が999ファイルになると、ログファイルを記録できなくなります。新しいSDメモリーカードをセットするか、以下の方法でログファイルを消去することで、新たにログファイルを記録できるようにします。

1 カメラの電源を入れる

「これ以上ログが記録できません　消去しますか？」のメッセージが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押し、「全消去」を選ぶ

3 OKボタンを押す

すべてのログファイルが消去され、撮影できる状態になります。

注意
「キャンセル」を選んだ場合、撮影を続けることはできますが、ログファイルを記録することはできません。

メモ
再生起動モードで電源を入れた場合は、ログファイル消去後、再生モードに戻ります。

時刻を自動で修正する

GPSで取得した時刻情報を利用して、カメラの時刻を自動修正します。

1 「🔧設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「GPS」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で、「自動時刻修正」を選ぶ

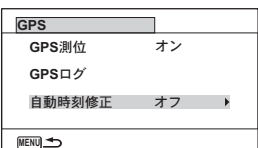
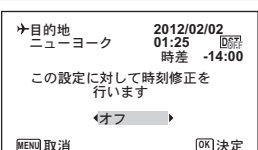
選べない場合は、「GPS測位」をオンに設定してください。

4 十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」の設定情報が表示されます。

GPS
GPS測位 オン
GPSログ
自動時刻修正 オフ
MENU

5 十字キー（◀▶）でオン／オフを切り替える

目的地 2012/02/02
ニューヨーク 01:25
時差 -14:00
この設定に対して時刻修正を行います
オフ
MENU 取消
OK 決定

6 OKボタンを押す

「GPS」画面に戻ります。

注意
- 「自動時刻修正」は「GPS測位」がオンになっている場合のみ設定できます。
- 以下の場合は自動時刻修正を行いません。
  - 動画撮影中
  - 動画再生中
  - スライドショウ再生中
  - インターバル撮影時
  - タイマー設定時